

小山地区定住自立圏構想

小山地区定住自立圏構想は、人口減少や少子化・高齢化が進むなか、圏域全体で経済発展や定住環境を整備し、人口流出を防ぐとともに、圏域への新たな人の流れを創出することを目的としています。構成市町が有する地域資源を最大限に活用して連携・協力し、人口30万人超の北関東の拠点圏域として、一体的に定住促進と地域活性化を図ります。**定住自立圏形成協定(平成28年4月7日小山市・下野市・野木町・結城市締結)**にもとづき、誰もが住みたい・住み続けたいと思える魅力的かつ持続可能な定住自立圏を目指します。

連携市町の魅力紹介

小山市

小山市は、東京圏からの交通の利便性が高く、農業、商業、工業のバランスが良いまちです。また、市街地の周辺に農地や平地林の田園風景が広がり、国の特別天然記念物「コウノトリ」が定着・繁殖したラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」のある自然豊かな田園環境都市です。

小山ブランド認定品「開運 小山うどん」

小山の豊かな水と栄養たっぷりの大地で生産された、良質な小麦粉「イワイノダイチ」を使用した、なめらかでモチモチとした食感のうどんです。

市内のうどん店が連携し立ち上げた「開運おやまうどん会」でうどんスタンプラリーを開催しているので楽しみながらご賞味ください！



下野市

下野市は、JR宇都宮線の3駅(石橋・自治医大・小金井駅)を中心とした自然豊かなまち。

下野薬師寺跡をはじめとする歴史的資源に加え、自治医科大学と同附属病院を擁する「医療のまち」でもあります。

下野ブランドをご紹介「伊澤いちご園のジェラート」

今回ご紹介するのは、暑い夏にぴったりの、ひんやりと美味しい本格ジェラート。自家農園で獲れるいちごをはじめ、素材と製法にこだわり、季節ごとに常時約20種類のフレーバーがショーケースを彩ります。道の駅しもつけの中にある「Gelato&Caffe いざわ苺園」の他、結城市と筑西市にある姉妹店「FARM'S」や、オンラインでも販売しています。ぜひご賞味ください。



結城市

結城市は、人口約5万1千人のまちです。近年、蔵を活用したカフェやサウナが新規出店するなど、若者による新たな賑わいが生まれています。また、ユネスコ無形文化遺産にも登録された「結城紬」は、地域共有の財産として、圏域内で連携・協力して守り継いでいきます。

結城ブランド認定品「ゆでまんじゅう」

もちもちとした生地が特徴の結城名物。江戸時代、流行り病がまん延した際に、当時の殿様が病払いのため、神輿を奉納した際に民衆にふるまったのが始まりとされています。神輿の時間に間に合うよう、蒸すより簡単に「ゆで」で作るようになったという説も。各店とも違った形や味があるので、ゆったり街歩きをしながら食べ比べてみてください♪

